

牛乳の“イ・ロ・ハ”

牛乳でこんなに美味しい料理が!!



(「ひろしまの酪農かあちゃん発案・美味しいレシピ集」を片手にお勧めの牛乳料理をPRする酪農家の山延眞智子さん(中)、伊久江さん親子(右)、司会の勝さやかアナウンサー(左))



(手作りバター体験で一生懸命にペットボトルを振る参加者ら)

「酪農かあちゃん」のレシピ集紹介コーナーでは、酪農家の山延眞智子さん、伊久江さん親子に出演頂き、ご自身が手がけられた自慢の牛乳料理を紹介され、司会の勝さやかアナウンサーとの掛け合いの中で、酪農に対する思いを熱く語って頂いた。このイベントを通じて、多くの消費者の方に酪農に対する理解と牛乳・乳製品の愛飲に繋がる牛乳の多様な摂取を紹介することが出来た。

ステージでは、おなじみとなった「手作りバター体験」や「ミルク〇×クイズ」に加え、「乳搾り体験ゲーム」や「酪農かあちゃんレシピ集紹介コーナー」、アトラクションでは、雄鹿原下組神楽団による「神楽」や地元で活動するソロシンガー・測上里奈さんの「ミニライブ」、その他、「骨密度測定」ブース、「ミルクドリンク」の試飲コーナー、牛乳に関する「パネル展示」等多くのイベントを行い、たくさんの方々が参加して賑わった。

広島県牛乳普及協会(山本武会長)は、広島市西区アルパーク東広場で牛乳の多様な摂取を促すことを目的に「We Love Milk フェスタ2012」を開催し、広く消費者に牛乳・乳製品の愛飲を訴えた。



(子供たちに大人気。東京から応援に駆け付けた MILK ● JAPAN のマスコットキャラクター『ミルクopp』)



(好評だった骨密度測定コーナー)



(乳搾り体験ゲームで参加者に優しく搾り方を教える隅屋寒三事務局長〈写真右〉)

11/23 静岡県御殿場市馬術・スポーツセンター

第八回全日本ホルスタインB&Wシヨウ 全国から二百四頭が集結



審査員に集中
歩様しっかりと!!

全国ホルスタイン改良協議会主催の第八回全日本ホルスタインB&Wシヨウが開催され、広島ホルスタイン改良同志会から、四會員、五頭が出品した。広島は事業推進課の櫻木茂夫課長補佐、伊藤泉技師、名越道弘技師の三名が現地にて支援にあたった。

広島県の出品者及び出品牛ともに十一月二十一日には会場入りし、シヨウに向けて万全の体制で準備を行った。会場は富士山の裾野に位置し、全日本大会にふさわしい場所であった。大会当日の午前は雨天で、ビニールシートでテントを張って審査会場に牛を移動したが、午後からは雨も止み、滞りなくシヨウが開催された。

審査の結果、グランドチャンピオンには愛媛県の出品牛、ジュニアチャンピオンに静岡県の出品牛が選ばれた。

審査員には(株)十勝家畜人工授精所の山口寿典氏、アシスタントに北海道岩見沢市の酪農家・瀬能剛氏が審査にあたられ、全国各地から集まった二百四

頭を審査した。

支援にあたった職員らは、「全国の改良熱心な酪農家が集結し、交流を深めることで、よりその熱意とレベルの高さを肌で感じる事ができた。この度の出品者の更なる改良向上を期待するとともに、仲間の和を広げて改良の素晴らしさや価値を伝えていく必要がある」と感想を述べた。出品者の皆さん、大変お疲れ様でした。



せっかくのセットが雨で
みだれぬように

テントを張って審査会場に移動



出品者の感想

藤井康浩さん



品として
も力ある
です。

色々な方から励ましや御祝いの言葉を戴きありがとうございました。結果は上位入賞とはいきませんでした。全国レベルの牛たちを目の当たりにして、新たな目標が出来たように思います。又、九州の方とは同じ牛舎で交流を深めることが出来、自分にとって大変収穫ある共進会でした。ご支援、ご協力下さった皆様、本当にありがとうございました。心より厚く御礼申し上げます。

檜高侑祐さん



今回、経産牛を出品し、ショウに挑みましたが、全国レベルの高さを実感しました。参加者の支え、今まで支えて下さった方の御蔭で出品することが出来ました。他県の方とも交流を深め、とても良い経験となりました。年々共進会への参加者数が減少する中、「この時代に…」という意見もありますが、家族の協力や激励して下さった皆さんに感謝して、次回も頑張りたいです。

藤本雄紀さん



他県の方と意見、情報交換ができ、今後に活かしていきたいと感じました。次回は北海道で全国共進会が開催されるので、飼養管理や調教をしっかり勉強して、出品できるように努力したいです。応援して下さい皆さんのおかげで、とても貴重な体験ができました。ありがとうございました。

前谷隆博さん



他県の方との交流の中で「どんな精液を利用しているのか」、「どんな餌を給与しているのか」等、今後の自分の将来に活かしていきたいことをたくさん学びました。

ショウでは残念ながら結果が振るいませんでしたが、充実した3日間となりました。

日々徒然

かがやき



「牛群改良は一日にして成らず」

▼五年に一度の日本を挙げての乳用牛の祭典「第八回全日本ブラックアンドホワイトショウ」が開催された。

▼十一月十九日には、山本武代表理事組合長が広酪本所会議室に四名の出品者をお迎えし「激励会」を開催した。

▼出品者を代表して挨拶に立った藤井康浩会長(広酪ホルスタイン改良同志会)は、「牛群改良に取り組む苦節九年。長きに亘る年月をかけて牛群改良に取り組んできたが、この道のりは長く険しかった。しかし、これらが身を結び、や」と成果が表れてきた」と改良への熱意と苦節を交えながら、広島県を代表しての出品に意欲を示された。その挨拶では、今年度も総会首席に輝く等、その成果が身を結んできた喜びと、これまでの苦節が脳裏をかすめ、目からは大粒の涙が溢れ、その改良への情熱が出席者の胸を突いた。同席した広酪職員からも、この熱い思いの共感を受け、涙する姿があった。



11月19日の激励会

▼激励会では組合長を始めとして、職員一人ひとりからメッセージを伝え、登録事業を担当する職員からは「日頃から事業を通じて、その熱意を感じています。頑張ってください」と激励し、同行する若い職員からは「万全のコンディションで出品できるように我々が全力でサポートします」「皆さんの健康管理は、私がサポートします」とその支援を力強く伝えた。

▼藤井会長は「牛群改良は一日にして成らず」、共進会は「美」を競うだけではなく、酪農経営に貢献する乳用牛の確保と効率的な生乳生産を強調され、若き出品者の「日本一の乳用牛を造りたい」との熱い思いも聴くことができた。

▼今年は、第八回の全日本大会だが、先般の第八十八回広島県畜産共進会を終えた出品者は、奇しくも三重の末広がり記憶に残る年になるものと思う。若き出品者らの牛群改良に向けた情熱から、今後も切磋琢磨して共に「育つ酪農経営」の実現を私たちは期待し、サポートにあたって行きたい。

美湯
仙人

第19回酪友フォーラム

11/28 ~ 29 鳥取県米子市皆生温泉皆生グランドホテル天水



優良経営に 笑顔が影響？

酪農メンバーズクラブ(井上正芳委員長)は、西日本酪農青年女性会議主催の第十九回酪友フォーラムに事務局を含め会員四名が参加した。フォーラムには、西日本の酪農家ら約百三十名が参加し、二つの講演を聴講し、会員相互の交流を深めた。講演骨子は次のとおり。

■講演

「とある酪農家で…」

く農場コミュニケーションと
経営を考えるく

講師 鳥取県農林総合研究所

主幹 河田 強氏

「コミュニケーション」は、人と人との間で、意思疎通が行われ、心や気持ちの通い合い、互いに理解し合うことが出来て、はじめて成立するもの。皆さんも牧場内で「あれ取ってきてー」、「父さんの担当だから、聞かないと分からない」

等のやり取りがないだろうか。それでは本当のコミュニケーションが成り立っているとは言えないことから、週に一回はミーティングの場を持つてみてはどうか。それだけで経営改善に繋がるきっかけと成り得る。また、良い経営には女性の笑顔が重要であり、男性は女性を笑顔にさせることを心掛けて貰いたい。

■食育活動の取組みを発表

蒜山酪農協、大山乳業農協、おかやま酪農協の三つの取り組みが紹介された。

「蒜山酪農協」は、学校への出前体験や関西圏に近い立地条件を活かし、関西のイベントにも出店。また、「カウ婚・求婚に行つてミルク?」「カウ婚フォートの出会い」と題した婚活イベントにも力を入れられている。

「大山乳業農協」は学校を訪問し、料理講習会など年間で数多く開催され、エサ(実物)、血統書(牛の名前の紹介)、耳標、哺乳ビン(人用と比較)、手作り紙芝居、食育エプロン等のツールを使った活動が特徴である。

「おかやま酪農協」は学校への出前授業やミルクフェアの開催、他

団体とコラボしたイベント参加、岡山県庁の食堂での牛乳料理提供、スポーツ団への牛乳贈呈、地域の祭りでの出店に取り組まれている。

参加者らは、河田氏の講演を聞き、日常生活にも当てはまることが多く、「自分の牧場も同じだ」との感想を持ち、食育活動に関しても参考になることばかりで、広島県でもまだまだ牛乳・乳製品の普及活動の余地があり、大変勉強になり参加して良かったとの感想が聞けた。併せて、他県の酪農家とも交流を深めることができ、有意義な研修であった。



左から参加した吉川栄樹さん、沖孝典さん、井上正芳さん、山延伊久江さん、伊藤泉技師。



平成 24 年度中国地区牛乳・乳製品利用料理コンクール

11/10 岡山県学校給食会

牛乳料理千四百四十三点の応募 広島選出の町田唯さん「優秀賞」



優秀賞を授与される広島県代表町田さん(右)

中国生乳販連(東山 基会長)主催の中国地区牛乳・乳製品料理コンクールが開催され、中国五県で開催された県大会を勝ち進んだ十名(各県二名ずつ)が出場し、自慢のアイディア牛乳・乳製品料理を披露した。

審査員長には、竹内ひとみ専務理事(岡山県栄養士会)を迎え、このほか大迫ひろみ氏(日本乳業協会関西相談室)、香山治美課長(岡山県学校給食会物資第二課)、平尾正倫課長(中国四国農政局畜産課)に加えて、

主催者の中国生乳販連会長が審査にあたられた。

中国五県から延べ千四百四十三点の応募があり、各県での厳正な書類審査と県大会を経ての出場とあつて、何れの作品も普及性、獨創性に富んでおり、審査員をうならせていた。

審査結果は、最優秀賞に岡山県代表の池上千尋さん(岡山南高校)の「ミルクスープのつけ麺」が選ばれ、優秀賞には同じく岡山県の藤井飛伽さん(倉敷中央高校)の「トマトとクリームチーズのかさねデザート」、広島県から町田唯さん(市立呉高校)の「ミルク担々春雨」が選ばれた。

中国地区での牛乳・乳製品料理コンクールは今回で二回目の開催で、広島県からの受賞は初めてとなった。



完成料理を試食しながら審査する東山審査員(中販連会長):写真右

酪政連の窓

12/1 広酪本所会議室

「首尾一貫」TPP参加反対の 立候補者を推薦

広島県酪農政治連盟(藤岡辰彦委員長)は役員会を開催し、第四十六回衆議院総選挙の立候補者の推薦、牛乳市場販売価格の正常化への理解醸成活動への対応を協議した。

衆議院総選挙への立候補者推薦は、J Aグループ(広島県J A政策研究会 村上光雄会長)と一体的な考えのもとで総力を結集する方針を掲

げ、これまでのTPP断固反対活動に

関して「人・モノ・金」を費やす中で、首尾一貫、TPP参加断固反対を主張する立候補者を推薦することとした。

この他、牛乳販売価格に疑問を感じ、量販店に対して、酪農家のおかれる厳しい実状、牛乳市場販売価格の正常化への理解醸成を求める活動に入ることを決定した。

◆広島県酪農政治連盟が推薦した候補者(敬称略)

選挙区	推薦候補者	所属政党
広島県	第一区 岸田文雄	自民党
	第二区 平口 洋	
	第三区 河井克行	
	第四区 空本誠喜	民主党
	第五区 寺田 稔	自民党
	第六区 亀井静香	日本未来の党
	小島敏文	自民党
比例中国ブロック	斉藤鉄夫	公明党